

平成30年度第43回仙台市中学校新人柔道大会要項

1. 主 催

仙台市中学校体育連盟 仙台市教育委員会

2. 主 管

仙台市中学校体育連盟柔道専門部

3. 目 的

仙台市内中学校生徒相互の親睦と柔道技能の向上と普及をはかる。

4. 日 時

10月6日(土)	10月7日(日)
【男女団体 予選・決勝】	【男女個人戦】
7:30 役員集合 会場準備・点検	8:00 開場
8:00 開場 受付	8:20～ 監督会議
8:15～ 男女団体戦 非公式計量	9:00～ 男女個人戦
8:40～ 公式計量 柔道衣検査	13:30～ 表彰式・閉会式
9:10～ 監督会議	14:00～ 会場撤去
9:30～ 開会式	
9:50～ 競技開始	
13:00～ 表彰式	
12:30～ 男女個人戦のみ出場校 受付・非公式計量	
13:30～ 男女個人戦 公式計量服装検査 (公式計量開始より60分後服装検査終了)	
14:00～ 監督会議	

5. 会 場

宮城県武道館(仙台市太白区根岸町15-1 TEL249-1216)

6. 参加資格

- 仙台市内の中学生で、柔道修行者であること。
- 個人情報の取り扱いについて次のことに同意すること。大会主催者は個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は競技大会の資格審査、競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、掲示板、報道発表、記録発表等、競技運営および協議に必要な連絡に利用する。

7. 種 目

◎ 男子団体戦

各校1チーム出場。1チーム5名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員3名を登録できる)

◎ 女子団体戦

各校1チーム出場。1チーム3名とし、体重の軽い者から順から並べる。(補員2名を登録できる)

◎ 男女個人戦

- ・ エントリーは各階級4名以内とする。

男子 50 55 60 66 73 81 90 90超

女子 40 44 48 52 57 63 70 70超

8. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年4月1日施行)、国内における「少年大会特別規定」(2018年4月1日施行)による。
- (2) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年4月1日施行)、国内における「少年大会特別規定」(2018年4月1日施行)、「両袖を持って施す投げ技の禁止」を全柔連HPで詳細を確認し参加すること。
- (3) 優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「僅差2」とする。ブロック内でチームの勝敗の内容が同等場合は代表戦を行い、順位を決する。代表戦で得点差がない場合は、時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。
- (4) 試合時間は3分とする。代表戦のみ、時間無制限によるゴールデンスコア方式を実施する。
- (5) 柔道衣は白色とする。
- (6) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

9. 試合方法

(1) 団体戦

- ① 男子・女子は予選をリーグ戦で行い、各組の1位と2位のチームで決勝トーナメントを行う。
- ② チーム編成は体重順とし、最重量の者を大将とする。選手変更は監督が所定の用紙に記入し、試合の1試合前まで委員長に届ける。一度退いた選手の再出場は認めない。
- ③ 試合時間は3分とする。代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
- ④ 優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「僅差(指導2以上の差)」とする。
- ⑤ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

一本=反則勝ち > 技あり > 僅差2

- ⑥ チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表選を行う。代表戦の勝敗の判定基準は個人戦と同様とする。試合時間は3分とする。得点差がない場合は時間無制限によるゴールデンスコア方式によって勝敗を決する。
- ⑦ リーグ戦の順位は次の方法によって決する。
ア チーム間の「勝ち」「引き分け」「負け」の数による。

イ アが同様の場合は「勝ち」「負け」の内容により決する。

ウ イが同様の場合は1組による代表戦を行う。

⑧ トーナメント戦の順位は次の方法によって決する。

ア チーム間の「勝ち」の数による。

イ アが同様の場合は「勝ち」「負け」の内容により決する。

ウ イが同様の場合は1組による代表戦を行う。

(2) 個人戦

① 男女ともトーナメント方式で行う。ただし出場選手が3名のときはリーグ戦とする。

② 試合時間は3分とする。

③ 優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上、または「僅差（指導2以上の差）」とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。

④ 優劣の成り立ちは以下の通りとする。

一本＝反則勝ち > 技あり > 僅差2

10. 計量及び柔道衣点検

(1) 計 量

① 公式計量の前に非公式計量を行うことを認める。

② 非公式計量では指定時間内に自由に体重を計測できる。

③ 公式計量は指定された時間に1回とし、再計量は一切認めない。別室計量が必要なものは予め申し出ること。

④ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。

⑤ 団体戦では登録選手全員が測定を行うこと。

⑥ 個人戦では定められた体重区分にないものは失格とする。

(2) 柔道衣点検

① 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格している柔道衣、帯を着用すること。

② 柔道衣にはゼッケン（学校名・名字入り）を縫い付けて出場すること。

ア 布地は白とする（晒・太綾）。

イ サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm

ウ 名字は上側2/3、学校名は下側1/3の割合を基準とする。

エ 書体は太字ゴシック体を基本とする。男子は黒色、女子は赤色。

オ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

③ 女子は上衣の下に次のいずれかを着用しなければならない。

ア 相当の丈夫さがあり、下穿きの中に入る十分な長さのある白色、または白色に近い色無地のTシャツ。

イ 白色、または白色に近い無地のレオタード。

④ 柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

⑤ 胸のマーキングは学校名・校章のみ許容する（道場名は不可）。ブランド商標以外のメッセー

ジヤイニシアルなどのマーキングは認めない。

⑥ 下穿きの下に膝下より長いロングスパッツを着用することは認めない。

※参考 IJF 基準柔道着(新規格)

図1

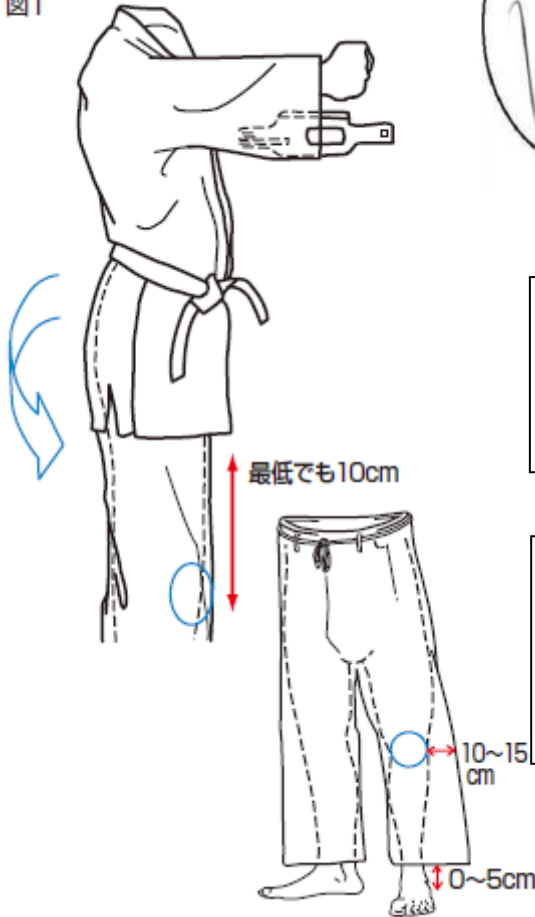


図2 拡大

袖は、柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時、手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。

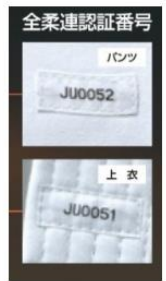


図3

胸骨の一番上から襟の重なりあう部分まで垂直で 10 cm未満でなくてはならない。
上衣の併せ目で下襟の長さが、水平で少なくとも 20cm なくてはいけない

H29年度より、ブロック大会以上(東北大会・全国大会)は、上衣・ズボンは新規格(赤)、帯は赤青どちらでも可

※参考 IJF 基準柔道着(認証マーク青と新規格認証マーク)



認証柔道着(青枠)・認証番号(黒)



新規格認証柔道着(赤枠)

IJFマーク
取付け位置



<国内大会における女子選手T シャツのマーキング>

色は白，半袖，丸首

製造業者マークは，最大20cm²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に，製造業者マークが見えてはならない。

正式な国家，NOC，もしくはIJF 加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。

所属名称もしくは，所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm²とする。

いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

●H30 年度県大会

・・・新規格認証柔道着（赤）、帯も認証（赤青）でないとダメ 女子黒帯は白線有無しとも可

●H30 年度東北・全国大会

・・・新規格認証柔道着（赤）、帯も認証（赤青）でないとダメ 女子黒帯は白線無しのみ

11. 引率・監督

- (1) 参加生徒の引率・監督は出場校の校長・教員であること。
- (2) 大会では外部コーチを置くことができる。ただし，平成30年度に外部コーチ登録をした者のみとする。外部コーチには教員の登録を認めない。また同一人が複数校の外部コーチになることはできない。
- (3) 全日本柔道連盟が示す「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を熟読し参加すること。
- (4) 審判員に準じた服装をすること。

12. 申し込み

別紙申込用紙に記入の上，9月3日（月）までに仙台市立広瀬中学校・田畑宛てにC4thで申し込む。（申込書の原本を郵送し，併せて電子データを送付すること。東北学院と宮教大附属だけはメールで送ること。）尚，原本を巡回メールで送る場合，届く日にちを確認して必ず9月3日（月）17：45までに届くことを確認すること。

13. 抽選会

平成30年9月11日（火） 午後3：00～
於 仙台市立台原中学校

14. 表彰

- (1) 男子・女子団体
優秀校は，男子・女子は第3位まで（2チーム）表彰する。
- (2) 男子・女子個人
優秀選手は男女とも第3位まで（男女とも4名）表彰する。ただし，出場人数が少ない

場合には、部会で表彰人数を定める。（詳細は大会申し合わせ事項を参照のこと）

15. その他

- (1) 柔道精神に反する一選手は大会への出場を停止する。
- (2) 柔道選手らしからぬ髪型（パーマ，剃り込み，染色・脱色，異常なかりあげ等）や眉（剃り込み・剃り上げ）の認められる選手の出場は認めない。
- (3) 試合場への出入りは大会役員，監督，選手，補助員，登録した外部コーチのみとする。
- (4) 迷惑駐車・係への暴言を禁止する。今回も各学校の保護者のために，駐車券を配付予定。送迎は武道館のロータリーでお願いします。駐車券があったとしても，9時以降は優先されない。ただし，駐車場がいっぱいになった場合，お断りする場合もある。ご協力をお願いいたします。
- (5) ルールの改正面は、『全日本柔道連盟ホームページ』の『国内における「少年大会特別規定」の改正について』の（PDF ファイル）を参照で，周知ください。
- (6) ゼッケンの学校名は，各学校そろえてください。今回の柔道衣はその状態のままでも認めます。しかし，今大会以降購入するときは必ずそろえるよう学校で把握してください。今大会以降はそろっていない場合，必ず直していただきます。

○ 昨年度の各階級の優勝者は以下のとおりである。

	団体戦	六郷中学校			団体戦	袋原中学校	
	男子	50kg級	安達		附属	女子	40kg級
	55kg級	松葉	将監東		44kg級	山田	広瀬
	60kg級	佐藤	東北学院		48kg級	阿部	袋原
	66kg級	後坊	六郷		52kg級	酒井	富沢
	73kg級	佐藤	柳生		57kg級	阿部	柳生
	81kg級	高橋	将監		63kg級	土井	東仙台
	90kg級	橋本	上杉山		70kg級	参加者なし	
	90kg超級	小畑	五城		70kg超級	参加者なし	